

民国で取り組む低コストな森林づくり ～月形町有林整備プランの実現に向けて～

空知森林管理署

《現状・課題・目的》

《現状》

月形町有林に設定した官行造林が平成31年度末で契約満了となる。同町は町有林整備プランに従い、約4割がカンバ主体の広葉樹林化している林況を踏まえ、原植のカラマツは更新伐再造林、広葉樹は長伐期化による大径材生産をめざしているが、森林施業のノウハウと予算が不足している。

《課題》

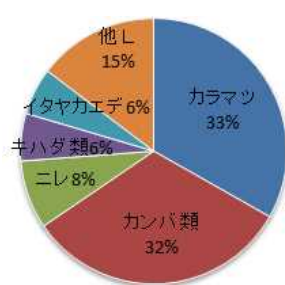
町有林整備プランに基づいた森林づくりを実現するために、国有林が推進する低コストな森林づくりの技術をアドバイスし、町の経費負担削減を図る。

《目的》

低コストな森林づくりの技術を導入することによって、町有林整備プランにそった官行造林跡地の整備を実現するとともに、これらの技術の定着と向上によって町有林の継続的な整備へと繋げる。

【平成30年度の取組結果・成果】

①今後の整備方法を決めるため調査結果を取りまとめ検討資料として提供



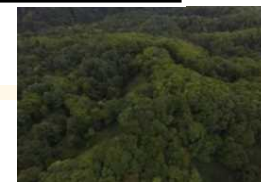
【樹種別割合】

【樹種別本数・材積(m3)】

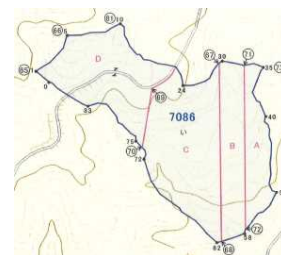
樹種	合計		32下		34上	
	本数	材積	本数	材積	本数	材積
カラマツ	696	633	326	168	370	465
N計	696	633	326	168	370	465
カンバ類	1,791	616	1,653	499	138	117
ニレ	926	159	883	116	43	43
キハダ類	574	110	571	108	3	2
イタヤカエデ	1,289	110	1,279	101	10	9
その他L	1,866	279	1,801	222	65	57
L計	6,446	1,273	6,187	1,046	259	227
合計	7,142	1,906	6,513	1,214	629	692

【林況取りまとめ表(抜粋)】

林小班	林地面積 (ha)	樹種	林齢	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)	ha当本数 (本)	ha当材積 (m3)
7086い	13.39	カラマツ	60	30	25	52	47
		広葉樹	60	16	17	533	95



広葉樹林化した林分



計画的な森林整備へ

②打合せで検討事項を確認し整備方法案を提言 → 3月の町議会に向け内部検討を開始

森林調査のまとめ	検討すべき事項	アドバイス
①カラマツは30%残存(全域に点在) ②70%が広葉樹林化(低木・小径木) ③沢や急傾斜地等が入り組んだ地形(一部が搬出困難)	◎調査結果より下記の事項について町有林整備プランの再検討が必要であることが判明した。 ①資材内容を踏まえた事業の効率性や収穫量(販売量)を考慮した整備方法 ②保安林であることを考慮した小班分割の方法(伐採限度面積10ha) ③沢や急傾斜地等の取り扱い ④再造林経費の縮減に向けた整備方法	◎調査結果に基づく検討事項踏まえ、計画的な町有林整備を実行する観点から下記の整備方法案を提言した。 ①分収林のうち国の持分を買取 ②カラマツだけでなく広葉樹も含め主伐(皆伐) ③2ha程度の保残帯を設定し小班分割 ④沢や急傾斜地等は広葉樹を活用し保残帯化(再造林面積の削減及び林地保全) ⑤3～5カ年間をかけ計画的に主伐再造林

【今後の取組で目指すところ】

町有林整備プランの実現に向けて、低コストな森林づくりの方法について具体的なアドバイスをすることにより、計画的な町有林整備の一層の推進を目指す。

【今後の目標】 低コストな森林づくりの普及と定着を目指す